

デンバー国際空港、CO²排出量を大幅に削減

空港としては最大規模の太陽光発電施設をメインターミナルに設置し、環境に配慮

年間利用者数約4,730万人（2006年）と全米でも5番目の利用旅客数を誇るデンバー国際空港は太陽光発電設備を本年末までに導入し、以降、二酸化炭素排出量を年間約2,268トン削減する予定です。同空港は米国環境保護庁の監督プログラムに名を連ねる唯一の空港であり、2006年にはISO14001を再取得するなど環境保全に対しての先進的な取り組みで知られています。

新規導入される太陽光発電設備の建設と運営は民間の会社2社が共同で担当し、空港側は高額な導入費用を負担することなく、安定した価格で再生可能エネルギーの購入をできる契約を結んでいます。空港メインターミナル正面に設置される2メガワットのソーラーパネルは、年間350万キロワット時のクリーン・エネルギー発電能力があります。

空港を運営するデンバー市では、昨年から4ヵ年計画の環境保全プランを策定することで、2011年までに市が達成すべき目標を9項目掲げ¹取り組みを続けていますが、今回の空港プロジェクトもその一環である“再生可能エネルギーの利用促進”を目的に実施されるものです。また、コロラド州では2004年に全米で初めて公共施設に対する再生可能エネルギーの利用比率を義務付けた住民投票が可決されており、その利用比率を2020年までに全体の20%まで引き上げる目標を設定しています。



デンバー国際空港の夕景

¹温室効果ガス排出量の削減、森林区域の増大、ごみ減量、再生可能エネルギーの利用、グリーン・ハウジングの増加、グリーン・モーター・フリートの増加、公共交通機関の充実、節水、グリーンな経済開発

🌀 コロラド州について

コロラド州は米国の中でもアメリカ開拓の歴史を色濃く残す州です。年間晴天率300日を誇り、3千メートル級の山々が連なるロッキー山脈国立公園をはじめとする4つの国立公園を擁しており、恵まれた自然の中、冬はスキー、夏はリゾートと米国内外から観光客で賑わっています。又コロラドはトレッキングやハイキングなどアウトドアやスポーツ愛好家にファンが多く、人と自然の距離を縮める、不思議な力のあるデスティネーションです。

～ 当リリースに関するお問い合わせ先 ～

コロラド州観光局 日本事務所（アビアレップス・マーケティング・ガーデン株式会社内）

担当: 米田、反町（ソリマチ） TEL: 03-3225-0008 / FAX: 03-5363-1118